

栃木県
県立学校間ネットワーク更新に係る
情報提供依頼書
(RFI)

令和8年6月
栃木県教育委員会

目次

1	概要	2
2	RFI の目的	2
3	参考とする方針について	2
4	現状について	2
5	情報提供依頼事項	4
5-1	全般	4
5-2	実績	4
5-3	課題（特に提案や意見を求めたい事項）	4
5-4	概算費用	6
6	提出期限について	6
7	参加について	6
8	提出資料について	6
9	連絡及び提出先	7
10	RFI に対する質問等	7
11	その他	7

1 概要

栃木県では、県立学校間情報ネットワーク（以下、おおりりネット）を整備・運用しており、次回の更新を令和10年度に予定しています。

次回の更新に当たっては、現状の課題や次世代の校務DXを見据え、今後のネットワークの在り方について検討を進めています。

本県としては、目指すべき方針や課題を整理するに当たり、文部科学省が推進するGIGAスクール構想や校務DXの動向を踏まえつつ、次期おおりりネットの設計・構築に向けた指標を幅広く収集することを目的として、本情報提供依頼（以下、RFI）を実施するものです。具体的には、全国的な学校ICT環境の構築事例、ICT技術のトレンドや将来動向、ソリューションや製品に係る費用、ならびに知見に基づく情報提供を求めたいと考えています。

まずは、幅広い技術的知見や導入実績を有する業者様からの意見を拝見させていただき、それらを踏まえて、栃木県が目指す次期おおりりネットの要件定義および設計の具体化をすすめています。その上で、改めて詳細なRFIを年度内に実施する予定です。

なお、本RFIは情報収集を目的とするものであり、今回ご提供頂いた情報を元に、構築事業者を選定することはありません。

2 RFIの目的

今回のRFIは、栃木県として次期おおりりネットの設計を行うにあたり、最新動向等の情報収集を行うために実施します。本RFIを踏まえ栃木県として目指す次期おおりりネットの詳細設計を行い、年度内に2回目のRFIを実施する予定です。

3 参考とする方針について

栃木県が示す教育施策の基本的な計画

- ・とちぎ教育ビジョン（2026-2030）

https://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/tochigi_kyouiku_vision.html

文部科学省が示す次世代校務DX環境

- ・次世代校務DXガイドブック

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369_00002.htm

- ・教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm

- ・GIGAスクール構想の下での校務DXについて

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html

- ・学校のネットワーク環境整備

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02734.html

4 現状について

栃木県の県立学校のネットワークは、校務LAN、校内有線LAN、学習用無線LAN（GIGAスクール用無線LAN）、共有LANの4つの体系で構築整備されています（表1参照）。おおりりネットワークは直近の更新は令和5年度、学習用無線LANは令和2年度に整備を行い現在運用中です。

校務LAN及び学習用無線LANともに、Microsoft 365を利用した運用を行っていますが、ライセンスはそれぞれ別で用意となっており、教員にそれぞれアカウントが発行されている状況です。学習用無線LAN用の端末（以下、GIGAタブレット端末）は、県で整備したWindows端末を配布していますが、令和8年度の入学生から、高等学校における個人所有端末の持ち込み（BYOD）を始めたところです。

また、令和9年度にはクラウド対応した校務支援システムの更新を予定しています。

表1 栃木県 教育系ネットワーク構成について

ネットワーク名		パソコン名	主な設置場所	使用者	
				教職員	児童・生徒
校務 LAN		校務 PC	職員室・準備室	○	—
校内 LAN	校内有線 LAN	教育 PC	普通・特別教室・パソコン室 ・図書室・進路室	○	○
	学習用無線 LAN	タブレット	普通・特別教室	○ ※1	○
共有 LAN		共有サーバ類	職員室	—	
ネットワーク名		説明			
県立学校間情報ネットワーク (おおりネット)		本業務（システム）の総称			
上位インターネット回線		県庁舎サーバ室より本システム全てのインターネットサービスを提供する上位のインターネット通信回線（プロバイダを含む）			

※1 教職員は、学習用無線 LAN では教員用 GIGA タブレット端末を使用（校務用端末とは別）

(1) 施設数

総数 88 拠点

【内訳】

① 県立学校

高等学校 59 校（県立中学校 3 校は高校に含む）

特別支援学校 16 校（1 分校を含む）

夜間中学校 1 校（学悠館高校内に所在しているが、ネットワーク構成上は別拠点としてカウント）

② 分教室（自治医大、独協医科大学）、聾学校寄宿舎、農場 10 教室

③ 総合教育センター 1 拠点

④ 栃木県庁 1 拠点

(2) 生徒・職員数（令和 8 年度 5 月時点）

教員 : 約 5,000 名

児童生徒 : 約 35,000 名

(3) 校務 LAN（令和 8 年度 5 月時点）

校務用端末 : 約 4,700 台

Microsoft 365 A3 ライセンス利用

※校務 LAN の運用は主として職員室になるが、準備室等においても、物理結線またはタグ VLAN を用いて教職員が校務 LAN に接続できる環境を構築しています。

(4) 校内有線 LAN（令和 8 年度 5 月時点）

パソコン教室用端末 : 約 3,720 台（32 校 93 教室）程度

図書室・進路指導室用端末 : 約 150 台（各校に 2 台ずつ）

(5) 学習用無線 LAN（令和 8 年度 5 月時点）

対象ユーザ数 : 約 40,000 名（教員 : 約 5,000 名、児童生徒 : 約 35,000 名）

Microsoft 365（教員 : A1 ライセンス利用、児童生徒 : A3 ライセンス利用）

端末数

GIGA タブレット端末（県調達分） 約 31,000 台（Windows 約 29,300 台、iPad 約 1,700 台）

GIGA タブレット端末（BYOD 分） 約 9,000 台（Windows、chromebook、iPad が混在）

無線アクセスポイント

約 2,800 台 (Cisco Meraki)

BYOD 端末について

- ・令和 8 年度に県立高校（全日制・定時制）及び特別支援学校高等部へ入学する生徒より導入しています。
- ・段階的に BYOD に移行するため、令和 10 年度には 1～3 年生が BYOD 対象学年となる予定です。
- ・端末（OS）は Windows、chromebook、iPad から生徒が任意で選択し購入（各校ごと推奨端末あり）しています。
- ・BYOD 端末を校内の無線 LAN に接続するためには、申請後発行された無線証明書をインストールすることで利用できるようにしています。
- ・証明書の発行管理は GIGA スクールのコールセンターにて実施しています。

(6) ファイルサーバ（校務 LAN）割当

校務 LAN	学校用（校務用）	1 学校あたり	1 TB
	教職員（個人用）	1 人あたり	2 GB

※その他詳細については別紙 2 「おおるりネット全体構成図」を参照してください

5 情報提供依頼事項

5-1 全般

- ・ICT 技術のトレンドと将来動向
- ・貴社の提案するソリューションにおける訴求箇所及び要点
- ・全てについて回答が難しい場合は、一部回答でも構いません。
- ・現時点では細かい条件や数量等は確定できませんので、積算等は現状資料ベースでの概算で問題ありません

5-2 実績

次世代校務 DX（ゼロトラスト型ネットワーク）の構築実績、類似する業務の実績と簡単な内容を記載してください。

5-3 課題（特に提案や意見を求めたい事項）

(1) 回線・無線ネットワーク

校内 LAN 用のネットワークについては、順次、10G 対応回線に更新していますが、一部地域の学校においては、10G 対応回線の提供時期が未定であるため、無線負荷分散などの仕組みなども考慮した改善を行いたいと考えています。

(2) 校務 LAN と校内 LAN ネットワークの統合

現在は校務 LAN と校内 LAN が分離されているので、教員は端末を 2 台使用する必要があり、端末や接続場所によりアクセスが制限されています。また、校務 LAN は有線接続にしか対応しておらず、校務処理が職員室等に限定されているため、柔軟な働き方が実現できていません。

- ・次期更新においては、校務 LAN と校内 LAN の統合を視野に入れています。
- ・校務用端末と GIGA タブレット端末の統合について、メリット・デメリット（セキュリティ的な面を踏まえた対策）も含め提案をしてください。

(3) 災害等への対応

- ・大規模災害発生時における校務系データの損失のリスクに対する対応
- ・災害発生時でも、児童生徒の安否確認や健康状態の把握、学習支援等の最低限の業務が確実に安全にできる仕組みの整備

(4) 校務 DX・教員の働き方改革

- ・行政側のシステム（旅費・休暇・出張申請等）との連携

おおるりネットから、行政系システム（旅費・休暇・出張申請等）を利用できるようにしたいと考えています。校務系 LAN のゼロトラスト環境への移行を検討していることを念頭に、他の自治体で行政系システムと校務系 LAN の接続の事例や、提案があればお願いします。

あわせて、それぞれの構成におけるメリット・デメリット、導入時の課題およびその対応策についても可能な範囲でご提示ください。

なお、現状では行政系ネットワークは事務室および校長室にて利用可能であり、おおるりネットとは物理的に分離された独立環境として運用しています。

(5) アカウント管理（人事異動・年度処理）

- ・現在は各サービス（Microsoft 365（校務・学習用無線 LAN）、校務支援システム）ごとに人事異動や年度異動処理を行わなければならない、それぞれの業者間との調整や作業期間にかなり時間と負担を要しています。データ作成や設定調整、新たに導入されるシステム間の連携においても、教育委員会や学校側の作業負担が極力軽減され、ほとんど発生しないようなアカウント管理の仕組みについて提案をしてください。

(6) セキュリティ等の強化に伴う Microsoft 365 ライセンスの検討

- ・栃木県では Microsoft 365 を利用していますが、教員用のアカウントに関しては、現在校務 LAN と学習用無線 LAN でそれぞれ異なるライセンスを利用しています。（校務系 A3 ライセンス、学習系 A1 ライセンス）

- ・児童生徒用アカウントに関しては、教員の校務系 A3 ライセンスの生徒向け無償ライセンス特典により、A3 のライセンスを利用しています。

- ・次期更新においては、Microsoft 365 を継続して利用していきます。その上で、セキュリティ強化の観点から、Microsoft 365 のライセンスについて、A5 への移行により機能強化をする構成と、A3 をベースにサードパーティ製品を組み合わせる構成の双方について、コスト及び運用面を含めた提案をしてください。

(7) ファイルサーバの在り方

現在はファイルサーバを用いた運用をしていますが、こちらも次期更新においてクラウドへの集約も視野にいれています。ただしファイルサーバについては次期更新で必ず移行する前提では考えておらず、費用を見た上で段階的に移行することも考えています。提案にあたっては、クラウド版への移行を前提としてください。その上で、クラウドがコスト的に莫大になる場合は、これに代わる代替構成案の双方について提案し、費用及び運用面における比較が可能となるよう整理してください。

またクラウド版で提案される場合は、移行に係る情報（移行方法、移行に要する期間、データ転送量の上限、学校や教職員側で行う作業の有無と内容）などの情報提供もお願いします。

(8) 運用保守

現在のおおるりネットの保守は、「校務 LAN 及び校内 LAN」「学習用無線 LAN」「校務支援システム」それぞれに保守とコールセンターが存在しており、教職員の対応が煩雑になるとともに、障害発生時などの切り分けや対応に時間を要する場合があります。教職員の負担を軽減するとともに、迅速に障害に対応できる仕組みについて提案をしてください。

(9) 参考で情報提供をお願いしたいもの

今回のおおるりネットでの更新対象ではありませんが、関連して情報提供を求めたいものとして、貴社が提案される環境下において必要となる教員が利用する端末の条件やスペック、端末にインストールする必要があるソフトウェア等があれば情報提供をお願いします。なお、教員が利用する端

末は Windows を使用するものとします。

※校務用端末はおおりネットの更新に含まれないため別調達となりますが、今回のおおりネットの更新内容を加味した機種選定・初期設定をする必要があると考えています。

(10) その他

- ・記載していない事項で、追加の提案などがあれば記載をお願いします。
- ・次回の RFI や、今後貴社がより詳細な提案をするために必要な条件や意見があれば参考に共有願います。

(11) スケジュール

稼働を令和 11 年 3 月からとした場合の、できるだけ短期間での調達及び構築スケジュール案について提案をお願いいたします。

5-4 概算費用

概算費用は以下の構成で提出をお願いします。また見積はできる範囲で結構ですので、一式ではなく、学校数や月数ごとの単価がわかるような形式で作成をお願いします。

- ・構築費用（運用開始までに必要な費用）
 - ネットワーク構築費用（機器費用、ライセンス等）
 - ゼロトラスト構築費用（ファイルサーバ移行費用含む）
 - 設定や構築に関する費用
 - プロジェクト管理等に関する費用
 - ・運用費用（運用開始後に必要な費用）
 - 機器のハード保守に関する費用
 - クラウド・ライセンス関係に係る費用
 - コールセンターやオンサイト対応に関する費用
 - ・その他
 - 上記以外にもある場合は内容をわかるようにしたうえで記載をお願いします
- ※運用期間やライセンス等は 60 か月で算出をお願いします。

6 提出期限について

- 提出期限 : 令和 8 年 7 月 28 日（火）午後 4 時まで
提出方法 : 電子メール
※提出後、電話にて受領確認をお願いします。
提出先 : 「9 連絡及び提出先」のとおり

7 参加について

情報提供依頼に協力いただける事業者については、別紙 1 「参加表明書」を記入いただき、令和 8 年 7 月 3 日（金）までに提出をお願いします。

情報提供依頼への参加意思を表明していただいた事業者に、以下の追加資料を電子メールにて配布します。

- ・別紙 2 「おおりネット全体構成図」

8 提出資料について

提案書については、「5 情報提供依頼事項」について提案をお願いします。

貴社において提案ができない項目や機能がある場合は、空欄ではなく、その旨がわかるように記載をお願いします。

(1) 提案書：様式は任意とします。項目は次の項目に沿った形で作成をお願いします。

	項目	主な内容
1	基本方針	貴社として本 RFI における基本的な考え方・方針
2	会社概要及び業務実績	会社概要 校務 DX 及び類似業務に関する実績及び内容
3	提案概要（全体イメージ）	提案する次期おおりネットの全体イメージ
4	各提案詳細	情報提供依頼事項を踏まえた、貴社の提案について
5	その他提案	本 RFI に関する意見、次回 RFI に関する要望 追加提案等
6	スケジュール	調達から運用開始までのスケジュール

(2) 概算見積書

書式は任意としますが、可能な限り数量・月数等分けた形で掲示をお願いします。

(3) 提案するサービス等の資料

提案においては、提案するサービス名や製品名を明記してください。またサービスのカタログやパンフレット・サービスに特化した提案書等がある場合は参考資料として提出をお願いします。

9 連絡及び提出先

栃木県教育委員会事務局教育政策課

担当：教育 DX 推進室 ICT 教育推進チーム 石田 幸太

住所：〒320 - 8501 栃木県宇都宮市埴田 1 - 1 - 20（南別館 4 階）

電話：028 - 623 - 3571

電子メールアドレス：ict-suishin@pref.tochigi.lg.jp

10 RFI に対する質問等

(1) 質問方法

質問及び問い合わせは以下のとおりです

期間：令和 8 年 6 月 26 日（金）～令和 8 年 7 月 7 日（火）17 時まで

※ 閉庁日を除く

方法：電子メール

件名を「県立学校間情報ネットワーク更新に係る RFI への質問」としてください。

送付先：「9 連絡及び提出先」のとおりに

(2) 質問に対する回答方法

質問については、参加希望事業者の連絡担当者様宛に電子メールで回答をいたします。回答については対応して頂ける事業者全てに提供します。回答予定日は令和 8 年 7 月 14 日（火）です。

11 その他

(1) RFI に関してかかる費用は、提案事業者の負担となります。

(2) 後日事業者様に対し、県より質問や説明をお願いする場合がございます。

(3) 本 RFI の内容や費用で、構築事業者を決定するものではありません。

(4) 提出頂いた提案書や資料については返却いたしません。

(5) 情報提供いただいた内容を参考にして、詳細な要件をまとめた 2 回目の RFI を令和 8 年度中に実施する予定です。